

澁川地域コギク産地の 維持発展に向けて

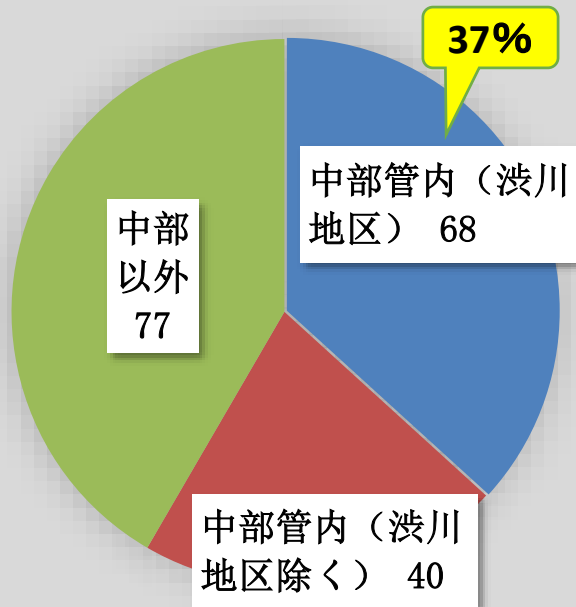


計画年度:平成27~29年

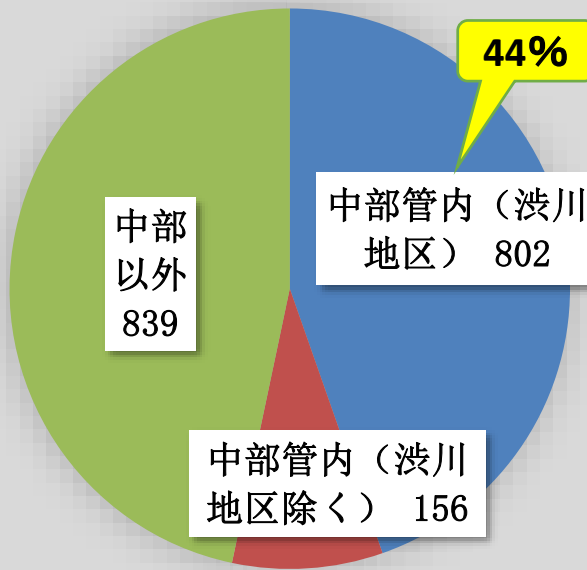
中部農業事務所普及指導課

群馬県内に占める 渋川地区コギクの割合

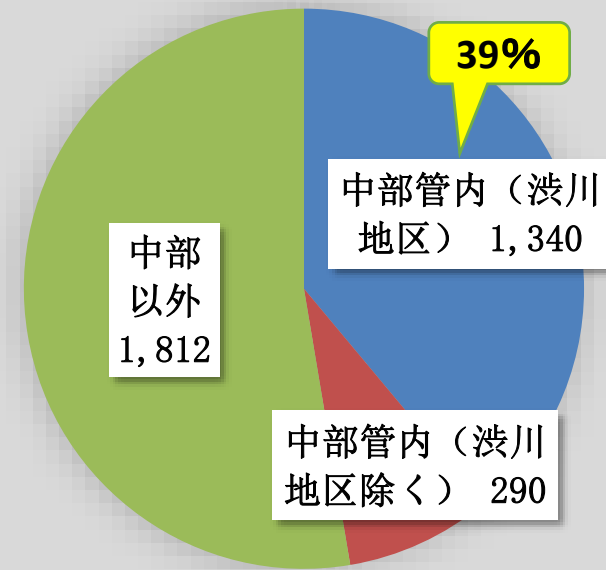
農家数(185戸)



作付面積(1,797a)



出荷量(3,442千本)



(平成29年度群馬県花き生産状況調査)

課題設定の背景及び理由

◆ 渋川地域は県内最大のコギク産地であるが……

- ◆ 生産者の高齢化による生産者数及び出荷量の減少
- ◆ 品質低下(病害虫の発生、ボリューム不足、選別不徹底等)
- ◆ 異常気象による開花のズレ・生理障害の発生



◆ 市場からの信頼低下



◆ 価格の下落

負の循環の懸念

主な推進課題と解決手法

- 1 新規栽培者の掘り起こしと定着支援**
JAや地区農業指導センターと連携・継続的支援
- 2 省力栽培技術の普及と病害虫防除の徹底**
マルチの利用推進(かん水や除草作業の省力化)
防除作業の省力化検討
「渋川地区コギク情報」配布(病害虫防除に対して重点的に指導)
- 3 市場評価の高いコギクの安定出荷**
「小夏シリーズ」の安定出荷
「小夏の星」早期出荷
- 4 検品強化による出荷品質向上**
JAと連携し、出荷目揃い会を開催
(出荷初期と盆・彼岸の需要期前)



到達目標(目標年次の姿)

目標項目	現状(H26)	目標(H29)
新規コギク栽培者 (名)	0	3
コギク栽培面積 (ha)	8	10
A品率向上 (%)	60	80

活動経過及び結果

1 新規栽培者の掘り起こしと定着支援

- ・各種会議で[秋冬野菜との複合経営]提案
- ・新規就農者向け基礎講座
- ・直売所出荷者対象栽培講習会



- ・新規に3名の生産者が
コギク栽培を開始



- ・重点指導
(育苗から出荷まで定期巡回)



産地支援会議の開催

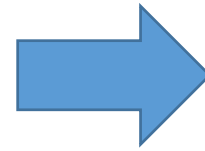
2 省力栽培技術の普及と病害虫防除の徹底

省力栽培提案

無マルチ栽培(慣行)

問題点

- ①除草労力
- ②活着不安定
- ③生育中の灌水労力
- ④草丈不足



JA所有
マルチャー活用

マルチ栽培

成果

- ①除草労力軽減
- ②活着安定
- ③灌水労力軽減
- ④草丈伸長良

新規で5名導入



マルチャー利用講習会

病害虫防除の徹底指導

[渋川地区コギク情報]の定期発行

渋川地区コギク情報～No. 9～

2015. 7. 30 中部農業事務所普及指導課

○気象状況と今後の予報について

・猛烈な暑さが少なくとも後2週間程度続く予報

梅雨明け後、35℃を超えるような天候が続いています。少なくとも今後2週間は高温が予想されており、ハダニなど害虫が多発しやすい条件が続きます。

また戸外だけでなく、出荷調整場などでも熱中症の危険が高くなりますので、十分注意してください。

○コギクの生育状況、注意について

・8月用は早くも出荷がピークに

8月用は開花が進む「小夏の月」や「小夏の風」も出荷が始まるなど、平年と比べて7～10日程度早まっています。

また出荷物の中で蒸れによると思われる葉の変色などが確認されています。高温時期は特に出やすいので選花や箱詰め時には十分に確認しましょう。

9月用は今のところ順調ですが、今後も高温が続くと品種によって開花の遅れや、頂芽に障害が出て、ほうき状の草姿になるような生理障害の発生が今後懸念されます。

○病害虫の発生状況

・オオタバコガ

農業技術センターから7月30日付けでオオタバコガに関する注意情報が出ました。高温で晴天が続くと被害は拡大しやすくなります。7月上旬にオオタバコガ対策の薬剤を使用した方は、3週間が経過しますので次回散布を行いましょう。

・ハダニ類

ハダニ類は日に日に発生が目立つようになってきました。35℃位の高温でも増殖速度が落ちることはありません。しばらくは最重要の防除対象ですので、葉裏にしっかりと薬剤がかかるように散布量も多めに丁寧に散布しましょう。

○今後注意すべき病害虫防除

・出荷が忙しくなる前にしっかり防除を

お盆用の出荷が本格的に始まっていますが、出荷量が増えると同様に作業が忙しくなり、農業防除が遅れがちです。特にこの時期は気温が高く、ハダニなどの増殖速度が速くなります。防除が遅れると9月以降の出荷物で激発してしまいますので、カネマイトフロアブルやダブルフェースフロアブルなどの薬剤でしっかり防除を行っておいて下さい。

ただし、高温時期なので葉害にはくれぐれも注意してください。

○オオタバコガの発生消長(トラップ捕獲数)(北橋町)

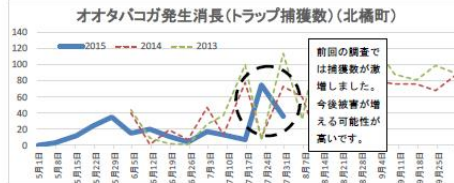


写真1) 出荷箱の中のオオタバコガ



写真2) 高温時期には蒸れにも注意

作成したコギク情報

◆発行回数(4～10月 :育苗～収穫まで)

- ・平成27年度: 計 12回
- ・ 28年度: 12回
- ・ 29年度: 11回

◆記載内容

- ・今年の気象状況
- ・生育状況
- ・病害虫の発生傾向
- ・今後の管理ポイント

等

◆配布方法

- ・普及(メール)→JA担当者(印刷)
- 組合員役員→組合員
- 1～2日で全戸配布(配布スピード早)

3 市場評価の高いコギクの安定出荷

群馬県育成コギク品種「小夏シリーズ」の栽培が盛ん



小夏の星



小夏の風



小夏の月

●キクの需要期とは……

東京盆：7月上旬出荷 お盆：7月下旬～8月上旬出荷

しかし……

当地では、「小夏の星」の開花がお盆用には早すぎ、7月の東京盆には間に合わず(需要期に出荷時期が合わない)

それならば……

現地にあった^{かぎさし}鍵挿しという開花前進技術が使えないか！

開花時期の調整技術

◆^{かぎさし}鍵挿し(現地呼称:ずりこみ)

切り下株の根の基部に発生する脇芽を利用する方法。発根後、親株の基部を付けて苗とするため、**苗の生育が早い**(挿し芽苗より開花が早い)。

◆植物調整剤

植物に対する成長調整作用のある薬剤のこと。キクでは**開花時期を遅らせる**ために、開花抑制としてエテホン剤(商品名:エスレル10)の利用あり。



切り下株

赤丸の芽を取り外して苗とする



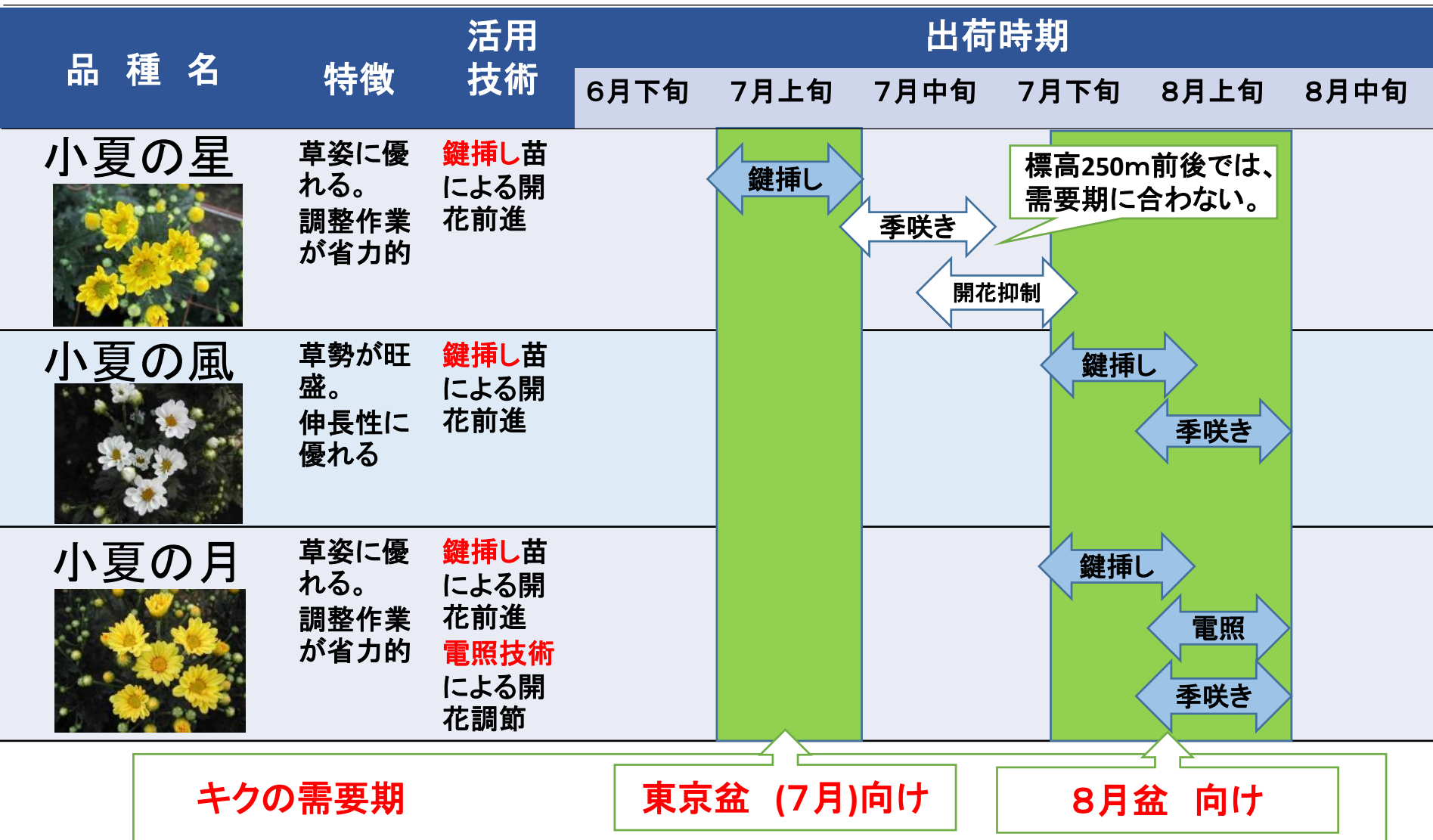
鍵挿し苗



一般的な挿し芽



県育成品種コギク「小夏シリーズ」の 需要期に向けた安定出荷体系の確立



4 検品強化による出荷品質向上

平成24年以前：検品体制弱い・目揃え会不十分



平成25年以降：検品強化

- ・目揃え会：出荷開始初期と盆・彼岸の需要期前
- ・担当による検品：品質劣る物は格下げもしくは返品(出荷停止)
- ・出荷品質調査結果の生産者へのフィードバック



生産者の意識統一



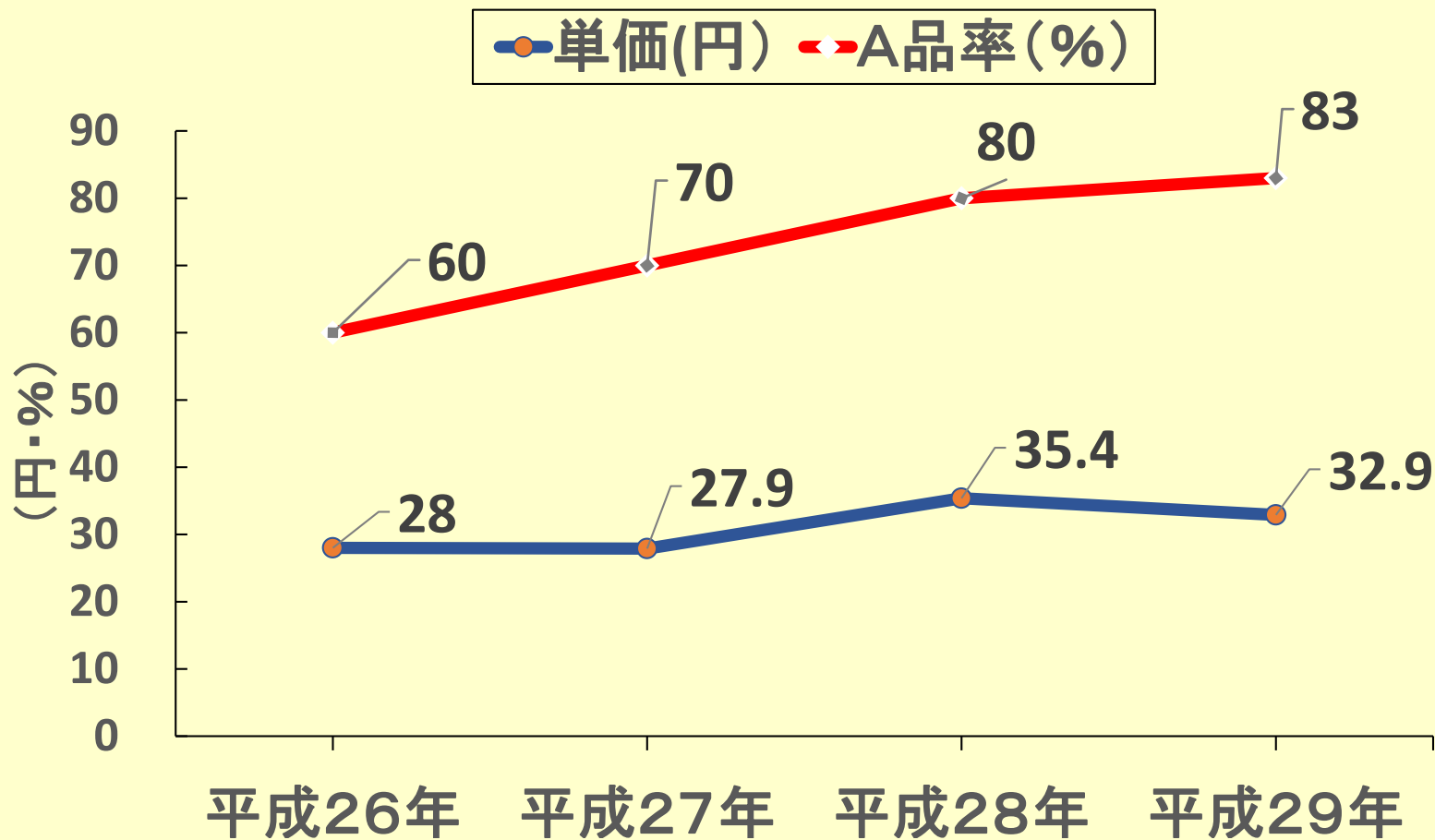
出荷目揃え会

取り組み実績

目標項目	基準年 H26	H27	H28	実績 H29
新規コギク栽培者(名)	0	0	1	3
コギク栽培面積 (ha)	8.0	8.2	8.0	8.0

新規栽培者3名確保！

コギクの販売実績



検品強化の取り組みによりA品率83%へ向上！

産地の信用度高まる

残された課題と今後の対応

1 省力、良品安定生産の推進

- ・マルチ栽培推進

(JAマルチヤー利用)

- ・病害虫防除の徹底

(定植前からの防除徹底、
気象条件を元にした発生予想と初期防除)



2 出荷品質向上、契約販売の拡大

- ・出荷規格徹底(特に病害虫)、検品体制の強化
- ・鮮度保持(萎れ)対策の実施(出荷調製作業の見直し)
- ・JA保冷库の積極的活用・運用

3 新規栽培者の確保

- ・地区指導センターへ相談のある就農希望者へのコギク紹介
- ・秋冬野菜との複合経営推進(ホウレンソウ、ブロッコリー等)